

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

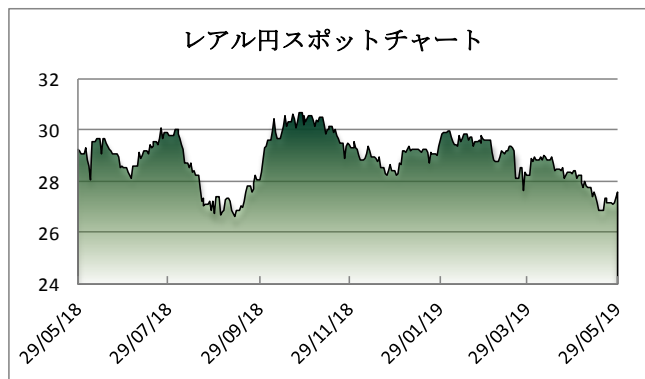
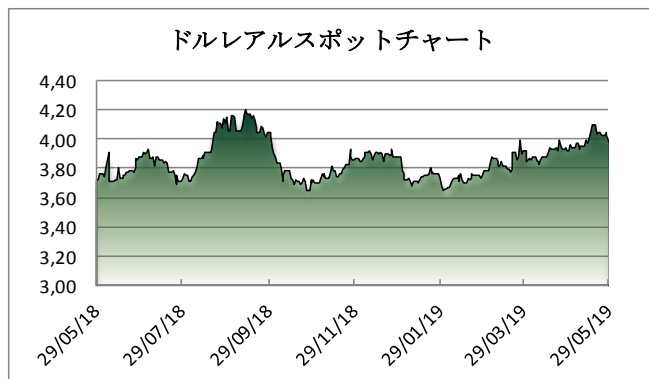
マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、省庁統合法案が上院でも承認された他(Sergio Moro法務相が要請していたCoaf-金融活動審議会-の管轄を経済省から法務省に変更する法案は採用されなかった)、ブラジル中銀が為替・資本市場に関する包括的な規制緩和案を提示したことを好感し、前日に続いてレアル買いが進行。4レアルの節目を割れると、引けにかけてさらにレアルの買戻しが加速し、3.97台前半で取引を終えている。28日に行われた朝食会で、「ブラジル協定(Pacto Brasil)」構想が協議されたこともマーケットのリスクセンチメント改善に寄与している。具体的な協定内容は6月10日の週に公表される予定であるが、年金改革・税制改革・汚職撲滅等について、政府と議会、司法が連携して取組む、との内容が盛り込まれる模様で、政府と議会に軋轢が生じているという見方を払拭することが目的と想像される。また、ブラジル中銀のCampos総裁は昨日、「時代遅れとなっている為替・資本市場の近代化」を掲げ、今後数年をかけて、大幅な規制緩和に踏み切る、と発言。公開された資料内では4つの領域として、①市場アクセスの拡大、②競争力の向上、③透明化、④金融教育、が掲げられているが、特に注目は、①市場アクセスの拡大、で具体的に記載されている、「外国為替、及び、国際資本市場に係る規制の簡素化、近代化」であろう。資料内に具体的には記載されていないものの、記者会見上で同総裁は、「クロスボーダー取引・海外投資を促進するため、2-3年以内に、レアルを実質的に完全に交換可能な通貨にすることを目指す」、と発言。完全な交換通貨を実現することで、通貨の安定性が高まると期待される他、「ブラジルクスト」と呼ばれる過大なコストの削減にも寄与するとしている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	5月28日	5月29日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,0253	3,9732	-1,29%	0,76%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	27,17	27,57	1,47%	-2,63%	30,08	26,68
	対ユーロ	BRL	4,4924	4,4251	-1,50%	0,32%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	109,38	109,59	0,19%	-1,85%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	122,06	121,99	-0,06%	-2,37%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	96.393	96.567	0,18%	0,39%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	180,70	179,17	-0,85%	3,25%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,64	8,52	-1,39%	-5,30%	9,34	8,52
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,31	6,33	0,32%	-2,69%	6,69	6,30
3 Months US Dollar Libor		%	2,52375	2,52175	-0,08%	-2,22%	2,8039	2,5180
CRB Index (国際商品指数)		Index	180,26	180,34	0,04%	-2,08%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。